

## パブリックコメントの結果(意見と対応)

- 意見募集期間 平成29年12月16日(土)から平成30年1月15日(月)まで
- 意見提出者数 4人  
電子メール:2人 窓口:2人
- 意見提出件数:15件

No.	意見の内容 (趣旨を損なわないよう要約しています。)	意見に対する市の考え方	修正内容	
			箇所	内容
1	他の計画と比べ、大変シンプルなものになっていますが、課題や目標設定に至った経緯がよくわかりません。資料編を見ると、生駒市の状況が分かるのかと思いますが、本論でその過程を示した方がよいのではないのでしょうか。	市民アンケート調査や庁内ヒアリング及び国や社会を取り巻く動向から考察し、各課題を導き出しています。各課題には抽出の根拠とした事由の説明を加え、さらに資料として示している図表の説明についても追記をしました。	4ページ	資料-1から資料-6、資料-18から資料-28を生駒市の食育をめぐる課題の前に置き、課題抽出への説明としました。また、「生駒市の食育をめぐる課題」のそれぞれについて、補足説明文を追記しました。
2	「施策の柱」や「課題」、「基本理念」が唐突に記載されているように思います。「課題」を導き出したと思われる、資料編の「食の現状」、「アンケート調査結果」との関係性がわからないため、それぞれの分析結果も「課題」ごとに記載するべきではないのでしょうか。	市民アンケート調査や庁内ヒアリング及び国や社会を取り巻く動向から考察し、各課題を導き出しています。原案での資料編から、「生駒市の食育をめぐる現状」を本編に移し、新しく章を作成するとともに、各章の順を変更することとしました。各課題には抽出の根拠とした事由の説明を加え、さらに資料として示している図表の説明についても追記をしました。	1,4ページ	資料-1から資料-6、資料-18から資料-28を生駒市の食育をめぐる課題の前に置き、課題抽出への説明としました。また、「生駒市の食育をめぐる課題」、「基本理念」の考え方のそれぞれについて、補足説明文を追記すると共に、課題から施策へのつながりが見えるように、「生駒市の食育をめぐる課題」の次の章に「基本理念」「目標」「施策の柱」としました。
3	平成29年度に実施したアンケート調査の結果を基に第2期計画で設定した達成度が示されていますが、平成24年度の結果が29年度の結果と対比できるものか不明です。理由は、今回の資料編に平成24年度の調査概要が示されていないからです。郵送配布数が同じであっても回収率が大きく異なった場合は平成29年度と比較できないのではないのでしょうか？	平成29年度調査の回収数は、平成24年度調査の回収数より少なく、比較にあたっては回収数による回答結果の誤差も踏まえ検討しています。なお、平成29年度調査における回答者の年齢区分の構成は、平成24年度調査と概ね同じであったため、年齢区分による補正は行わず比較しています。		

4	資料編のアンケート調査結果の図表には%表示で示されていますが、実数も示す必要があるのではないのでしょうか。	ご指摘いただきました点について追加記入します。市民の意向のアンケート調査として、割合だけではなく実数の把握も必要と考えています。各図表に全回答者の母数を書き加えます。	資料19-29	各グラフについて、データの全体数を追加し、N数で表しています。
5	資料編29ページのグラフのやせすぎの乳幼児2.5%について、10人かと推定しますが、その中にネグレクトの子どもが含まれているのではないかと懸念しています。そのような可能性はありませんか？	今回のアンケートにおいては、食育に関わる内容についてのみの質問項目とさせていただいているため、やせすぎの原因についての回答は得られておりません。乳幼児期は発育過程にあり、個人差もあることから、個々に応じた適切な支援が行われることが重要であると考えます。各家庭において必要と思われる支援については、健康課で引き続き取り組んでまいります。		
6	9ページの第2期計画の数値目標に対する評価について、評価の基準がよくわかりません。	第2期計画の数値目標に対する評価については、計画内に記載しているとおり、平成24年度の現状値と平成29年度の実績値を比較した際に、実績値が目標値を達成していた場合は「○」、実績値が目標値に達成していないが、改善傾向である場合は「△」、実績値が悪化している場合は「×」、現状値と実績値の誤差が1%前後であり、大きな変化がない場合は「→」で評価しています。	9ページ	3「第2期の計画における数値目標に対する評価」のうち、「食育ボランティアの団体数」の評価の誤記がありましたので、×→△に訂正しています。
7	『わ食の日』の認知については目標値を80%としていたが、目標値をそもそも80%としたことが高すぎたのか、それとも何か障壁があってPRができなかったのか、『わ食の日』をいう設定自体が問題だったのか？『わ食の日』という生駒市の取り組みを知らない人が多いが『わ食の日』を実践している、つまり、もともと、保護者や市民は食育に関して意識が高いが、行政としては(内臓脂肪症候群の認知度が上がらなかった点も含め)周知不足ではなかったのかと考えますが、懇話会としてはどのような評価だったのでしょうか？	第2期計画の「わ食の日」の認知についての目標値につきましては、目標とすべきものとして高い値を設定しておりました。広報紙や市ホームページ、イベントや給食献立表等において推進してまいりましたが、ご指摘のように「わ食の日」の認知についてはあまり高いものではありませんでした。(生駒市独自の取り組みであったという点や、「わ食」という言葉自体を理解してもらうことが難しかったように感じております。)懇話会において、周知不足であったとの評価をいただきその旨を追記しました。さらに、今後の周知方法として年代に応じた周知方法の工夫をする必要があることを提案いただき、計画の推進に向けての取組みとして位置付けています。	9ページ	3「第2期の計画における数値目標に対する評価」の説明文の最後に、以下の文を追記しました。「達成できていない項目については、計画や施策についての周知、情報発信が十分でなかったことが原因のひとつと考えられます。」

8	第3期計画の数値目標には、第2期に達成できなかった項目、例えば、内臓脂肪症候群の認知している市民の割合、肥満の割合、やせの割合などは含まれていませんが、なぜ含まれていないのでしょうか？	第3期の計画においては体重や体格についてではなく、健康寿命の延伸に向けた食行動の実践で評価することにいたしました。また、「肥満の割合」「やせの割合」については「健康いこま21」の中で目標設定しております。		
9	第2期計画で掲げた『わ食の日』は素晴らしいシンボルと考えます。2ページには『わ食の日』の認知度の低さを課題としていますが、14ページで取組例の一つに挙げられているだけです。3期計画でももう少し前面に打ち出してはどうかと考えます。	第3期計画では、関係機関・団体、生産者や民間業者等との連携・協働をさらに強化し、取り組みの充実を図るとともに、さらなる食育の実践を目指しており、「食」でつながり、笑顔あふれるまち‘いこま’といたしました。「地域や家庭等における食育の推進」として「わ食の日」の啓発も今後取り組みとして設定しております。	14ページ 資料19ページ	「わ食の日」の説明をさらに詳しく追記しました。
10	1ページの2つ目の目標には“食”が入っていません。例えば『生涯を通じた正しい食生活・生活習慣の定着の促進』はどうでしょうか？	いただいたご意見を踏まえ、一部記述を追加します。	1ページ	「生涯を通して自分に合った食生活・生活習慣の定着の推進」といたしました。
11	18ページの「数値目標」について、増加、減少となっていて数値で示されていないものが大半です。やはり数値で示す必要があるのではないのでしょうか。	国の計画と同様の目標はその数値に準拠し、国の目標をすでに達成しているものや、数値を示すための根拠がないものを、増加または減少としました。		
12	国の第3次食育推進基本計画では5つの重点課題と21の目標が設定されていますが、市の数値目標は整合しているのでしょうか。例えば、国の目標である「農林漁業体験を経験した国民を増やす」「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていく国民を増やす」に対して目標がないと思われませんが、生駒市では取り組まないということでしょうか。	「農林漁業体験を経験した国民を増やす」については、施策6の「食の循環や環境を意識した食育の推進」で、「地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていく国民を増やす」については、施策4の「みんなで食を楽しむ環境づくりの推進」において取り組みを位置づけしています。		

13	<p>第2期計画の進捗状況を見て、たくさんの取り組みがあることを知りました。私のように取組を知らない市民が大半だと思いますので、しっかりとしたPRが必要であり、市民に対するPRを計画の重点に置くべきではないでしょうか。</p>	<p>第3期計画の推進に向けて、ライフステージに応じた情報発信、広報活動の充実として、PRに重点を置くこととしています。</p>		
14	<p>10ページのライフステージごとに○が付いている対象施策を実施することで、6ページから8ページの「ライフステージごとにめざす姿」になると理解してよいのですか。          計画のまとめ方として仕方ないのかもしれませんが、「この年代に対しては、この施策を行うことでこうなってもらう。」という関係性が見えにくくなっていますので、計画の実施にあたっては施策の目的を共有する必要があると思います。</p>	<p>頂いたご意見を参考にさせていただき、計画を推進してまいります。</p>		
15	<p>11ページからの「2 施策の方向性」において、施策ごとのそれぞれの方向性の項目が、主な取り組みとどのようにつながるのかがわかりにくい。</p>	<p>各施策の方向と取組み例の説明文を追記します。</p>	11-17ページ	<p>各施策の方向の目指すところを追記しました。</p>